



発表項目 (行事名)	「ほっかいどう恐竜・化石カード」について		
記者レクチャー のお知らせ	(実施日時)	発表者	
		発表場所	
概要	<p>道では、本道で発掘・展示されている恐竜や古生物化石について多くの方々に興味・関心を持っていただくことを目的に、次のとおり「ほっかいどう恐竜・化石カード」を配布します。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <p><b>1 配布カード</b> 6種類(うちレアカード1種類)別紙参照 ※北海道大学小林快次教授監修</p> <p><b>2 配布期間</b> 令和3年3月10日(水)～4月11日(日)</p> <p><b>3 配布施設等</b> 5地域の博物館等 〔三笠市立博物館、むかわ町穂別博物館、中川町エコミュージアムセンター、小平町文化交流センター、足寄動物化石博物館〕 ・上記博物館等の来場者に当該博物館等で展示されている恐竜や古生物化石を題材としたカードを1人1枚配布 ・異なるカードを3枚集めた方には、5地域のいずれかの博物館等でレアカード1枚を配布(集めたカードの提示が必要。) ※枚数に限りがありますので、なくなり次第終了となります。</p> <p><b>4 カード配布に関するウェブサイト</b> <a href="http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/dinosaurcard.htm">http://www.pref.hokkaido.lg.jp/ss/ckk/dinosaurcard.htm</a></p> <p><b>5 今後の予定</b> 次回は令和3年夏頃の配布を予定しています。 詳細は別途お知らせします。 ※新型コロナウイルスの感染拡大の状況により中止(又は延期)する場合があります。</p>		
参考	<p>○ 北海道博物館特別企画展「北海道の恐竜」開催期間中(2/12～3/14)の土日祝日の来場者に、同様にカードを配布中です。(来場には事前申し込みが必要です。)</p> <p>○ 各施設を訪問する際は、「新北海道スタイル」にご理解いただき感染防止の徹底をお願いします</p>		
報道(取材)に当たってのお願い	本道で発掘・展示されている恐竜や古生物化石を地域の資源として活用し、地域の活性化に結びつける取組ですので、積極的な報道をよろしくお願いたします。		
他のクラブとの関係	同時配付(場所) 同時レク		
担当(連絡先)	総合政策部地域創生局地域政策課(担当:田村) TEL ダイヤルイン 011-206-6404 内線 23-457		

# ほっかいどう恐竜・化石カード

〈三笠市立博物館〉

**三笠市**



**エゾミカサリユウ**

有蹄目モサウルス科  
約5メートル  
中生代白垩紀モサウルス科の1種。近頃種での発見例から推察すると、該種が深い層位で発見された可能性もある。

【遊び方】  
持っているカードの裏面に描かれている動物は、大きさにあわせて順番に描き、その動物を完成させよう。

**エゾミカサリユウ**

白垩紀には、オオカグチ類の中から、海の中で生活するようになった「モサウルス類」と呼ばれるグループが出現しました。エゾミカサリユウは、そのモサウルス類の1種です。

1976年に三笠市内から顕微鏡の化石が発見され、2007年には、それまで南緯とニューギランドで発見されていた種類と区別できることがわかり、「クニファサウルス・ミカサリエンス」という学名が命名されました。また、その頭骨は国の天然記念物に指定されており、日本の化石の中でも特に知名度の高い種本です。

エゾミカサリユウの骨格はこうです。



【遊び方】  
持っているカードの裏面に描かれている動物は、大きさにあわせて順番に描き、その動物を完成させよう。

〈むかわ町穂別博物館〉

**むかわ町**



**ホベツアサキユウ**

植食目エラスモサウルス科(属種不明)  
約6メートル(不明)  
陸地に長い首をもつエラスモサウルス科の仲間。ホベツアサキユウはエラスモサウルス科としては中(やや)の大きさ。

【遊び方】  
持っているカードの裏面に描かれている動物は、大きさにあわせて順番に描き、その動物を完成させよう。

**ホベツアサキユウ**

ホベツアサキユウは1975年に穂別町(現・むかわ町穂別)で発見されたエラスモサウルス科のクビナガリユウの化石です。この名前は発見者の故郷・富本堂太郎さんの名前にちなんで名付けられ、「ホベツ」の変形で呼ばれています。

からだの大部分が埋蔵されたことで、日本産のクビナガリユウ化石ではそれまでないほど鮮明な骨格が保たれた。また、この化石は、むかわ町穂別の化石工場の発掘現場で発見されたことが、ホベツアサキユウの化石であることが2017年には北海道庁指定化石として登録されました。

ホベツアサキユウの骨格はこうです。



【遊び方】  
持っているカードの裏面に描かれている動物は、大きさにあわせて順番に描き、その動物を完成させよう。

〈中川町エコミュージアムセンター〉

**中川町**



**テリツジノサウルス類**

植食目テリツジノサウルス科(属種不明)  
約3-4メートル  
モンゴロウから発見されているテリツジノサウルス科の一種。テリツジノサウルス科の肉食恐竜と類似した特徴が、歯は植物食動物の特徴を示している。


【遊び方】  
持っているカードの裏面に描かれている動物は、大きさにあわせて順番に描き、その動物を完成させよう。

**テリツジノサウルス類**

中川町産のテリツジノサウルス類は、2000年に中川町内の化石愛好家によって、ソノジュールに含まれた状態で発見されました。2003年に中川町エコミュージアムセンター特別展「ほっかいどうの白垩紀博物館」の化石クリーニング実演コーナーの学生アルバイト(9)によって、クリーニングが進められ、骨(末節骨13点と指の骨1点)などが抽出されました。

このうちメタボスは、先が尖っているもの、ほぼ完全な形で保存されており、その長さは約14cmに達します。ソノジュールの骨からテリツジノサウルス類を含む「ニテツジノサウルス類」の骨であると考えられています。

テリツジノサウルス類の骨格はこうです。



【遊び方】  
持っているカードの裏面に描かれている動物は、大きさにあわせて順番に描き、その動物を完成させよう。

〈小平町文化交流センター〉

**小平町**



**クビナガリユウ**

植食目エラスモサウルス科(属種不明)  
約6メートル(不明)  
非常に長い首とそれに合わせている手足を持つ、長いクビナガリユウは恐竜ではないが、同じ時代の海で繁栄した大型爬虫類である。

【遊び方】  
持っているカードの裏面に描かれている動物は、大きさにあわせて順番に描き、その動物を完成させよう。

**クビナガリユウ**

小平町産のクビナガリユウ(エラスモサウルス科の仲間)は、白垩紀後期の上部白垩紀層と呼ばれる地層から、1987年に藤原義孝氏によって発見。翌1989年に小平町によって発掘されたもので、福島いわき市・北海道穂別町(現・むかわ町穂別)にいて日本でも最初に復元骨格が作られたクビナガリユウです。

この化石は、骨に頭骨が良好な状態で残っており、椎骨・肩帯・腰帯・四肢骨などあわせて280点に及ぶ部位(骨)の保存状態が良く、形態的特徴からエラスモサウルス科とされ、骨の特徴から長い頸体の化石であると考えられています。

クビナガリユウの骨格はこうです。



【遊び方】  
持っているカードの裏面に描かれている動物は、大きさにあわせて順番に描き、その動物を完成させよう。

〈足寄動物化石博物館〉

**足寄町**



**アシウロア**

家目アシモサウルス科  
約1メートル  
体形は家目類だが、白濁はコブを並べたような原始的な形。海中の姿は、阿山町地層の淡水層にいるホッキョクグマのイメージ。


【遊び方】  
持っているカードの裏面に描かれている動物は、大きさにあわせて順番に描き、その動物を完成させよう。

**アシウロア**

アシウロアは、北太平洋地域で化石がみつかるアシモサウルス科(家目類)の原始的な種で、1976年に十勝地方の足寄町で、2800万年前の海成層から発見されました。発見した化石が、海に近い海に注ぎ、大きな「手足」で海や海溝を這っていったと考えられています。

アシモサウルス科は、発見から100年くらいの間「水陸両生」と考えられてきましたが、研究の結果、水中で生活していた可能性が高いことが明らかになり、現在では、海で生活する中で復元されるようになりました。

アシウロアの骨格はこうです。



【遊び方】  
持っているカードの裏面に描かれている動物は、大きさにあわせて順番に描き、その動物を完成させよう。

〈レアカード〉



レアカードは、非公開とさせていただきます。



# ほっかいどう恐竜・化石カード 5か所の博物館などに行ってカードを集めよう!!



北海道で発掘された  
恐竜や古生物化石の  
カード全6種類  
カードを3枚集めて  
レアカードをゲット!!



2021

3/10 (水) ▶ 4/11 (日)

各施設のカードがなくなったら終了します。

## ■カードの集め方

- 1 各施設の入館者のうち希望者に1人1枚お渡しします。
- 2 異なるカードを3枚集めて各施設の窓口で見せると  
レアカードがもらえるよ!!(カードがもらえるところは裏面を見てね)



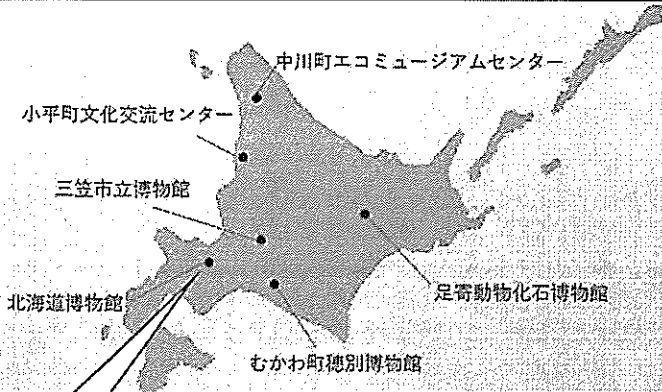
※各地を訪問する際は「新北海道スタイル」を実践し、新型コロナウイルス感染防止対策の徹底にご協力願います。

〈問い合わせ〉北海道総合政策部地域創生局地域政策課  
E-Mail : sogo.chisei1@pref.hokkaido.lg.jp  
TEL : 011-206-6404

次回のカード配布は、道ホームページで  
お知らせします。お楽しみに♪  
詳しくはこちら ⇒



# どこで恐竜・化石カードがもらえるの…??



■北海道博物館特別企画展「北海道の恐竜」開催期間中(2/12~3/14)の土日祝日の来場者に、1人1枚カードをお渡しします♪  
※北海道博物館では、レアカードをお渡ししていません。

北海道は、国内最大のハドロサウルス科の恐竜として、世界から注目を集めている「カムイサウルス」などの恐竜化石をはじめ、アンモナイト、ほ乳類、海棲爬虫類など、様々な古生物化石が発掘されている“恐竜・化石大陸”です!!

道内の恐竜や古生物化石に興味や関心を持っていただき、博物館などに行ってくださいことを目的に恐竜・化石カードを作りました。

新型コロナウイルス感染症防止対策を徹底して、5か所の博物館などでカードを集めてね!!

## 〈カードがもらえる博物館など〉

### 三笠市立博物館

三笠市立博物館の化石展示室には、直径約1.3mの日本最大級の巨大アンモナイト化石のほか、数多くのアンモナイトが一面に置かれています。また、国指定天然記念物エゾミカサリュウ化石も展示しています。



〈Tel. 01267-6-7545〉

写真提供：三笠市立博物館

### むかわ町穂別博物館

むかわ町穂別では、2013年に7,200万年前のハドロサウルス科の恐竜「むかわ竜」の全身骨格を発掘することに成功しました。研究を進めた結果、新属新種の恐竜であることが判明し、「カムイサウルス・ジャポニクス」と命名されました。

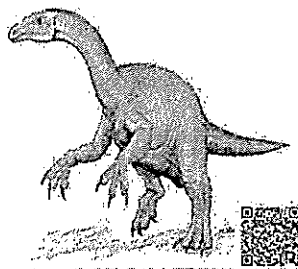


〈Tel. 0145-45-3141〉

写真提供：むかわ町穂別博物館

### 中川町エコミュージアムセンター

中川町に広く分布する層(蝦夷層群(えぞそうぐん))から、発見された道内3例目の恐竜「テリジノサウルス類」のツメ化石や、全長11mもある国内最大のクビナガリュウ、アンモナイトなど多くの化石が発見・展示されています。



〈Tel. 01656-8-5133〉

写真提供：中川町エコミュージアムセンター

### 小平町文化交流センター

小平町では、約8,500万年前の後白亜紀の地層から、北海道で初めての発見となった恐竜化石「ハドロサウルス科」の骨盤と大腿骨が発見され、そのレプリカが小平町文化交流センターで展示されています。



〈Tel. 0164-56-9500〉

写真提供：小平町文化交流センター

### 足寄動物化石博物館

足寄町では、絶滅した海棲ほ乳類(束柱類)のデスマスチルスの最も古いタイプである「アショロア」と「ベヘモトプス」の2体の化石が発見されており、それぞれ全身骨格が復元されています。



〈Tel. 0156-25-9100〉

写真提供：足寄動物化石博物館

### レアカードに「ダイナソー小林」のサインが…!?

異なるカードを3枚集めた方には、モンゴルのディノケイルスやカムイサウルス・ジャポニクス(むかわ竜)の発掘・研究などで活躍されている「北海道大学 小林快次教授のサイン入りレアカード」を窓口でお渡しします!!



小林教授が恐竜や古生物化石を解説…?? 詳しくはこちら⇒

